

「住みたくなるまち日本一」を目指して

富谷市記者会見資料⑤

令和2年6月24日

経済産業部産業観光課

担当：今野

連絡先：022-358-0524

TOMI+実証事業「おためしイノベーション富谷 with ためま株式会社」

ヒト・モノ・コトが集まるまちづくり交流拠点「TOMI+」では、今年度より行政課題や地域課題を民間技術の活用により市民（富谷塾）とともに解決していく実証事業「おためしイノベーション富谷」を本格的に実施いたします。

今回は、広島本社「ためま株式会社」（TOMI+入居企業）と協働し、日常から非常時まで「まちづくり全般」に関わる多様な地域情報を相互に伝達できる新しい基盤システムの構築を目指します。

報道機関の皆様におかれましては、新しい官民協働のカタチとなる「おためしイノベーション富谷」と当該実証事業の取組について、ぜひ取材いただきますようお願いいたします。



×



富谷市

ためま株式会社

記

(添付資料)

- 1 おためしイノベーション富谷に関して
 - (1) 全体スキーム
 - (2) 全体概要図
 - (3) 参考：TOMI+運営概要図
- 2 ためま株式会社との連携イメージ

STEP 1

- 本気で解決したい「課題」の整理
・各部署からの行政課題の洗い出しや富谷塾等で顕在化した地域課題の整理

STEP 2

- 課題の設定
・優先度の整理（緊急性・重要性・担当部署の本気度・本格導入時の予算感 等）

STEP 3

- TOMI+による入居企業の誘致
・本市の課題を協働で解決したい企業の誘致とマッチング

STEP 4

- 課題解決に向けた担当部署と入居企業との全体協議
・TOMI+スタッフ&産業観光課による調整と全体スケジュール設定等

STEP 5

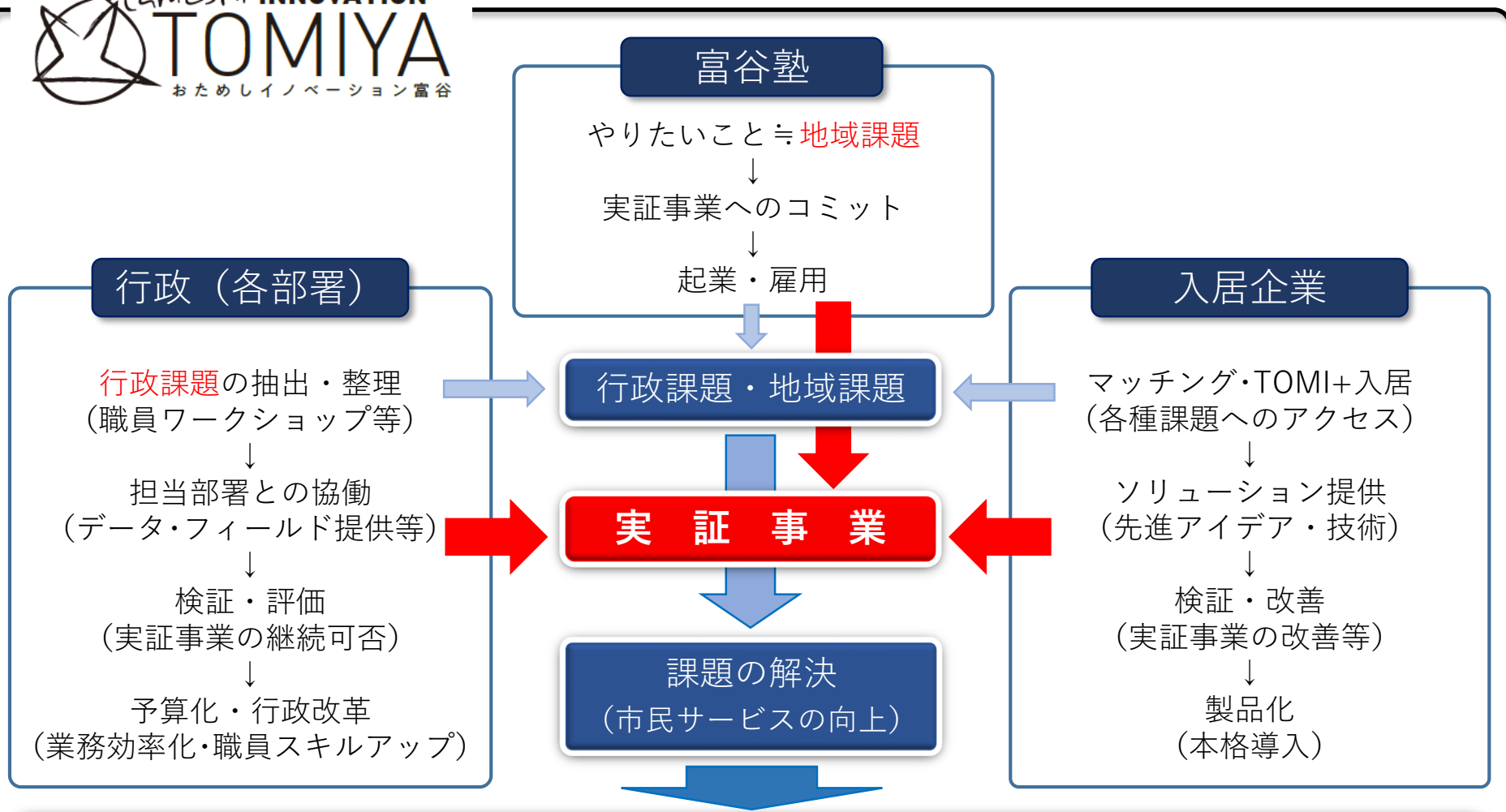
- 官民協働（入居企業×担当部署×富谷塾生）による実証事業の開始
・TOMI+スタッフ&産業観光課によるフォロー

STEP 6

- 実証事業の検証と評価
・次年度連携の可否も含めた検証と評価（次年度予算措置）

STEP 7

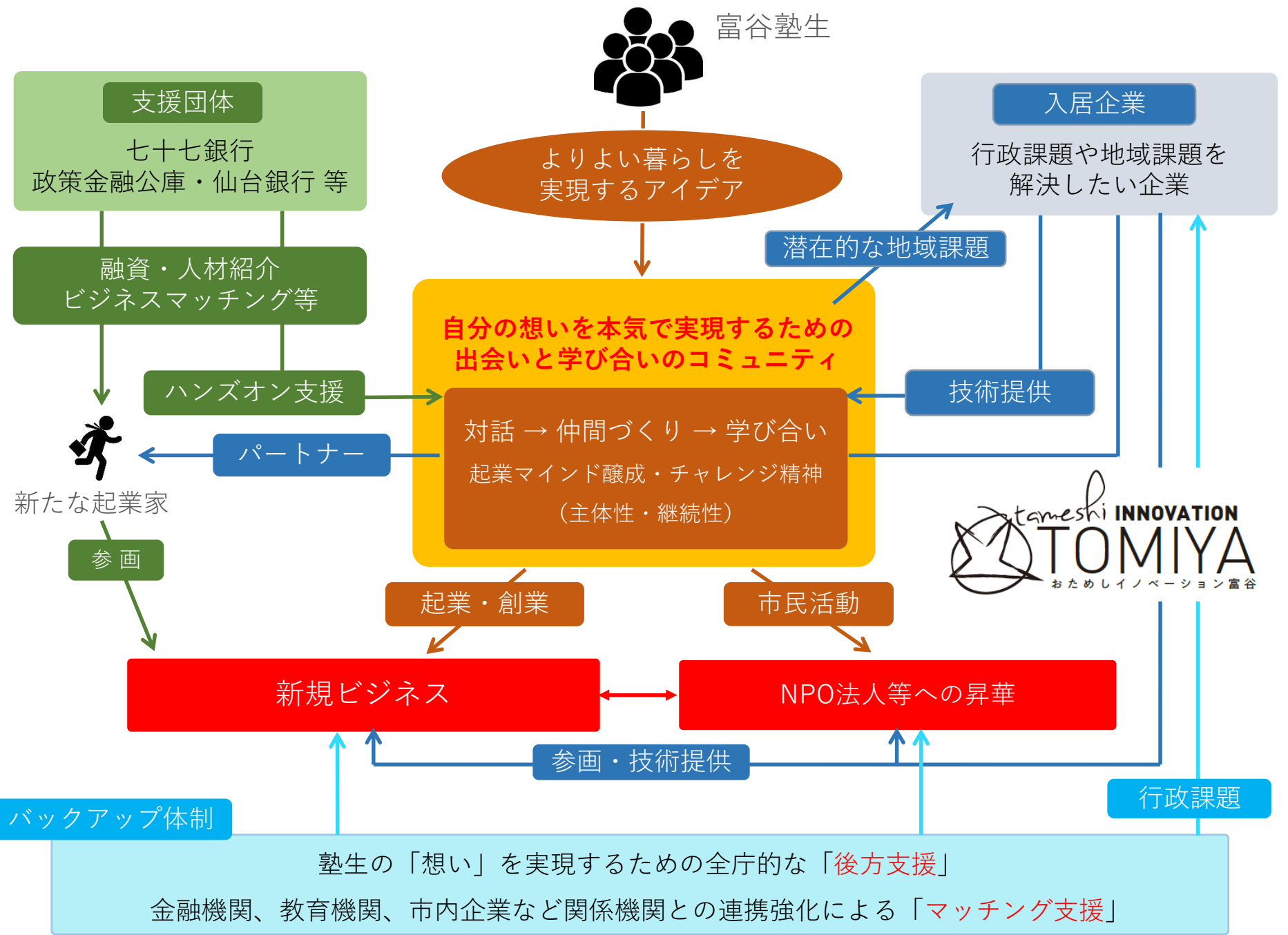
- 当該事業の横展開支援
・U I J、あわせ、七十七銀行、仙台銀行と連携した全国展開を支援



全国展開への支援

- ・ U | J 神戸市が開発した地域課題解決モデルUrban Innovation KOBEを多地域展開するために立ち上げた地域間の課題・ノウハウ共有プラットフォームUrban Innovation Japan。NPO法人コミュニティリンクが運営。
- ・ あわえ TOMI+設立当初からの運営支援業者。「日本の地方をもっと元気に地方の力で日本を元気に」を理念として、全国100以上の自治体と地方創生関連で連携。
- ・ 銀行 七十七銀行・仙台銀行等

参考：TOMI+運営（概要図）



現状と課題

- ・ 多様化複雑化する現代社会において、今般のコロナ禍により自助・共助の重要性はさらに高まってきている。きめ細やかな行政サービスで市民の暮らしを支えていくことは一層困難な状況になってきている。
- ・ 富谷塾「対話会」の中で、行政から様々な媒体を通して丁寧に情報発信していただいているが、一方で今欲しい情報を簡単に入手しにくいのも事実である。市民が普段の生活で利用しやすい幅広い情報を受発信できる仕組みがあれば、利便性がさらに高まるのではないかと多くの声があった。

実現したい未来

- ・ 地域の中で「自助・共助」の意識が高まり、生きがいや楽しさ、安心感を感じられるオープンでフラットなコミュニティが創られる環境が整備される。
- ・ 生活しているからこそその気づきや発見を相互に発信伝達できる環境が整備され、課題の早期発見や地域資源の活用促進などオール富谷でのまちづくりが実現する。

実証事業

- ・ 入居企業：ためま株式会社
- ・ 実証内容：ためまっぷ（地域の互助の場を主体的に形成するためのWEBアプリ）を活用して、日常から非常時までまちづくり全般に関わる多様な地域情報を伝達できる基盤システムの構築を目指します。